

1. 研究のまとめ方の例

(1) 表紙

- ・テーマは、見ただけで何を研究しているのかが分かるものを書く。
- ・共同研究の場合には、研究を行った児童全員の氏名を書く。

テーマ

学校名・学年

氏名

(2) 研究の目的

- ・なぜ、このテーマにしようと思ったのかを書く。
- ・この研究で、どんなことについて明らかにしようとしているかを書く。
- ・文献調査や研究に迫るための予備実験や予備観察などを書く。

(3) 研究の計画・方法

- ・研究の仮説は、先行研究や研究前の自分の考えを整理して書く。
- ・実験の順序や日程、記録の方法などこれからの研究の見通しを書く。
- ・何を使って、どのようなことを調べるのか、どのような方法で調べるのかなどを書く。

試す
見通す
工夫する など

(4) 研究の結果

- ・観察や実験などで集めたデータを、分かりやすく順にそって書く。

見付ける
比べる
たとえる など

(5) 考察

- ・結果を基に、何が分かったのか、何が分からなかったのかを書く。

(6) 結論

- ・研究の結果、はっきりと分かっていることを書く。
- ・新しい疑問や課題についても書く。さらに、解決するための方法も書くとよい。

(7) 感想・反省

- ・研究での気づきや感想を書く。
- ・研究の手助けをしてくれた人への感謝の言葉を書く。

(8) 引用文献・参考文献

- ・図鑑や百科事典などの書籍、インターネットによる Web ページから調べた内容を引用したり参考にしたたりする場合は、文献についての情報を明記する。

Q 「引用文献」と「参考文献」の違いは？

A 元の文章等をそのまま、あるいは要約して引用した文献のことを「引用文献」、研究を進める上で参考にした文献のことを「参考文献」といいます。迷ったときは、学校の先生やおうちの人に相談しましょう。



Q 文献の書き方は？



A 文献の記載例を紹介します。

書籍 著者名. 書名. 出版社, 出版年

論文 著者名. 論文名. 掲載雑誌. 出版年, 巻数(号数), p. ○ー○

Web サイト 著者名. “ページタイトル”. サイトの名称. 更新日. URL, (アクセス年月日)

2. 広島県科学賞における審査の観点

(1) 自主性

- ・児童の発想による自主的な研究になっているか
- ・学年レベルに応じた研究内容になっているか
- ・自分で興味関心をもち、継続して粘り強く取り組んでいるか など

(2) 創造性

- ・研究テーマや内容、方法に新しさがあるか
- ・データの解釈、考察、記録、表現などに独創性があるか など

他の人のアイデアや方法
などをそのまま書き写すよ
うなことはやめましょう。

(3) 信頼性

- ・正確な観察、実験の記録となっているか
- ・妥当な観察、実験の条件を設定しているか
- ・実験回数や観察個体数は適切か
- ・推論と事実の区別がしてあるか など

存在しないデータや研究結果を作
ったり、一部のデータだけを取り出
したりするのはやめましょう。

(4) 論理性

- ・結果に基づき、飛躍のない結論をだしているか
- ・研究テーマの問題(疑問)と仮説、結論が正対しているか
- ・観察、実験の方法の再現性はあるか など

誰にでも確かめることが
でき、誰もが分かる形で
まとめましょう。

(5) 安全と自然への配慮

- ・研究の方法や内容に安全への配慮がなされているか
- ・自然を大切にする配慮がなされているか など

<引用文献・参考文献>

大橋敦史. 13 歳からの研究理論. 化学同人, 2020

岡本尚也. 課題研究メソッド よりよい探究活動のために. 啓林館, 2017

神戸大学附属図書館情報リテラシー係. “資料別による参考文献の書き方(SIST02スタイル)”. 神戸大学附属図書館. 2023 年2月 27 日. <https://lib.kobe-u.ac.jp/media/sites/3/img-kulip-guidance-ref-2.pdf>, (2023 年4月 18 日)